

電子入札システムご利用の皆様へ重要なお知らせ

【電子入札システム概要】

電子入札システムは電子入札コアシステム(以下「コアシステム」という。)を基に構築したシステムとなります。コアシステムはサーバーとクライアントPCで構成されており、アプリケーションを動作させるためにJavaの実行環境であるJREを利用しています。

現在利用しているJRE8が2019年1月で無償サポートが終了し、引き続き電子入札システムを利用するためには、**使用可能な電子入札専用JRE8**をダウンロードする必要があります。

ダウンロード方法等、詳しい内容については、**2019年1月下旬頃に案内予定**です。

【参考】

京都府電子調達ホームページ(<http://www.pref.kyoto.jp/ebid/>)

電子入札コアシステムホームページ(<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/index.html>)

【問い合わせ先】

京都府電子入札ヘルプデスク


Tel:075-351-0001 mail:ebidhelp@gprime-ebid.jp

京都府 建設交通部 指導検査課 調整担当

Tel:075-414-5225 Fax:075-414-5183 mail:shido@pref.kyoto.lg.jp

⇒裏面に続く

電子入札に参加されている皆様へ**重要**

ご利用の発注機関の電子入札が  電子入札コアシステム※¹を採用している場合に対象になります。

電子入札に必要なJRE8のメーカー公式サポートが 2019年1月に終了します！



メーカー公式サポートが終了したソフトウェアを継続して使用した場合、**セキュリティ上の問題が発生する可能性があります。**

来年1月下旬にダウンロード開始予定！

使用可能な電子入札専用JRE8 ※²を専用ダウンロードページから
無償でダウンロードできるように準備中です。
専用ダウンロードページが開設されたらお知らせしますので、
いましばらくお待ちください。

3つのステップでダウンロードできるように準備中

STEP 1

- ・ ご利用中の各発注機関の電子入札ポータルサイトで、JREの更新を行う必要があるか確認
- ・ 認証局発行ICカード（電子証明書）を用意

STEP 2

- ・ 専用ダウンロードページ（1月下旬開設予定）の手順書にそってICカードから認証に必要なファイルを抜き出す

STEP 3

- ・ STEP 2で抜き出したファイルを専用ダウンロードページにアップロードすることで認証を受け、JREをダウンロード

※¹ 電子入札コアシステムは、複数の公共発注機関において汎用的に使える電子入札のパッケージソフトウェアであり、（一財）日本建設情報センター（JACIC）と（一財）港湾空港総合技術センター（SCOPE）が共同で開発しています。

※² JRE8は、Java実行環境（Java SE Runtime Environment 8）です。

Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。